

舟入川、新川を きれいに

舟入川・新川浄化推進シンポジウム

舟入川、新川をきれいに——と舟入川・新川浄化推進シンポジウムが十一月二十六日に市役所で開かれました。

これは舟入川・新川浄化推進協議会（藤本正会長）が主催して昨年に続いて行ったもので、今年は関係者や市民二十人余りが出席。会では主催者側のあいさつの後、県保健環境部の西岡班長が「河川浄化に関する県下の取り組み」と題して、生活排水対策などを具体例を挙げて紹介しました。

た。そのなかで啓もう活動によって「ちりを捨てない」という考えを浸透させるとともに、金網や舟などを使ってごみを拾い、川にごみがないという状態をまず作ることがたいせつであるという意見が大半を占めていました。

最後にアピールを採択。今後も市民ぐるみで運動の盛り上げを図っていくことにしました。

これまでも看板の設置などの取り組みで浄化のPRを行ってきましたが、なかなか改善されないのが現状。しかし、今日はウォーターフロントが見直されてきており、進められている後免町の再開発のなかでも「清流のある街」と

お年寄りも大喜び

岡豊高生60人が

福祉施設を訪問

岡豊高校吹奏楽部と家庭クラブのメンバー約六十人が十一月二十六日、特別養護老人ホーム「土佐清風園」で重度心身障害児施設「土佐希望の家」を訪れ、吹奏楽の演奏や手作りのプレゼントを贈りました。

同高校は本年度、県教委から「ボランティア体験事業校」の指定を受け、吹奏楽、合唱、家庭、マンガの四部がボランティア活動に取

り組んでいます。この日はまず土佐清風園を訪れ、吹奏楽部員が「四国民謡メドレー」などお年寄りに親しみのある約十曲を演奏。また家庭クラブ員が寝たきりのお年寄りを訪ね、会話を

楽しむとともに、自作のハンカチ、造花などを贈りました。この後、土佐希望の家へ移り、いま流行の曲などを演奏し、プレゼントを送りました。

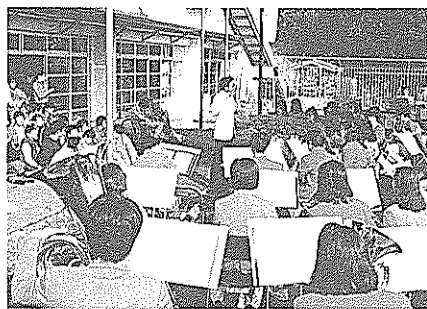


7人が登壇してパネルディスカッション

して舟入川を一つの中心にという計画が立てられています。市民一人一人による一層の美化の推進が期待されています。

高らかに 歌声響く 小中学校連合音楽会

今年で二十七回目を迎えた「南國市小中学校連合音楽会」が十一月二十九日、市民体育館に市内十



吹奏楽部員が演奏を披露

小雨がばらつく肌寒い天候でしたが、楽しい演奏と心のこもったプレゼントに、お年寄りも子供たちも寒さを忘れ楽しんでいました。

元気がいいに演奏



六校から約七百六十人の参加で行われました。

この日はかなり冷え込みましたが体育館の中の子供たちは元気いっぱい。各校それぞれ、今まで練習してきた「夢冒險」、「ハンガリー舞曲」などの合唱や合奏を披露しました。

会場には子供の暗れ舞台を見ようと大勢の父兄も詰めかけ、子供たちの上手な演奏に聞き入り、一曲ごとに盛んな拍手を送っていました。

おわびと訂正

広報なんごく十二月一日号四ページ左上の写真「山の祭り」は山村の祭り」の誤りでした。おわびして訂正いたします。